

修学旅行変更と思う

笠岡市立笠岡西中学校長 森下泰治

4月14日（木）から断続的に続く、熊本県を中心とする九州の地震。亡くなられた人、未だ行方不明の人、避難所で不自由な生活を強いられている人たちのことを思うと胸が痛みます。

この地震はいろいろなところに多大な影響を与えていますが、本校にも大きな影響がありました。

3年生が、昨年度から準備をし、とても楽しみにしていた修学旅行。しかし、地震のニュースを受けて、生徒から、「私らがすぐそばで楽しい気分で旅行なんてしてええんじゃろうか？」という声が上がりました。「何かできることはないだろうか」・・・。

もちろん安全面での不安もあるのですが、今回の災害を他人事としてとらえるのではなく、震災に遭った人のことを慮（おもんぱか）る声が多くあがったことに、驚きを感じるとともに、誇らしい思いがします。

生徒たちのこの思いに応えて、3年団の教員も、何度も旅行業者と連絡を取り合いながら、日程や行き先等を検討してくれました。

その結果、日程も行き先も変更し、9月下旬に神戸・大阪方面に行くことにしました。場所は違いますが、阪神淡路大震災の跡をたどり、震災について学ぶことができます。自分たちに何ができるか考えることができます。もちろん、楽しい思い出を友達と共有できる体験も考えています。もしかしたら、今まで以上に充実した修学旅行になるかも・・・。いや、ぜひそうしたいと強く願っています。